



Kinan Hospital

さざんくろす



病院長 阪越 信雄

私は昭和56年に大阪大学を卒業しました。大学病院・大阪警察病院・国立循環器センターで一般外科・心臓外科の研修を受け、大阪大学に戻って心筋細胞に関する基礎的研究を行い、平成3年～平成9年に紀南病院(旧病院)の心臓外科で勤務しました。その後、大阪府内のいくつかの病院で働き、平成20年に今の紀南病院に再度赴任して現在に至っています。最初の6年と今回の17年、合計23年、私の医師人生44年間の半分以上を紀南病院でお世話になってきたこととなります。

この17年間のうち、最初の5年間は心臓外科部長、次の5年間は副院長、最後の7年間は病院長として仕事をしてきました。病院長になってからは臨床の仕事は大きくセーブし、特に榊先生が来られてからは手術には全くタッチしなくなりました。寂しくもありましたが、「臨床はやり切った」という思いの方が強く、非常にすっきりした気持ちで病院長の職務に専念することができました。

そんな中で、私が病院長となつてからの大きな出来事の一つは『新型コロナウイルス感染症』です。これについては医師、看護師、paramedical、事務方など、すべての職員の皆さんの協力によって乗り切ることができました。今はもう、すっかり過去の思い出のようになっていますが、あの時の苦しかった経験は、次の新型コロナウイルスの対応に必ず役に立つものと信じています。もう一つの大きな出来事は『医師の働き方改革』でしょうか。ここ2年は「しっかり働いて収益を上げてください」「残業せずにさっさと帰ってください」と相反することを度々呼び掛けてきました。「正反対のことを言う奴だ」と思っておられたかもしれませんが、職員の皆さんには「大人の対応」をしていただき、『働き方改革』も徐々に軌道に乗つつあるようです。ありがとうございました。

『コロナ』や『働き方改革』に限らず、各診療科間の交渉やいろいろな職種間の調整などの院内仕事、また行政機関との会議や他病院との交渉など、病院長の仕事はいろいろと多岐に渡りましたが、それらすべて、「自分一人では何もできないのだなあ」と言うことを、身をもって感じた病院長時代でした。皆さんに支えていただいたこと、改めて感謝申し上げます。病院長ならではの悔しい思いや残念な思いは、言葉にできないくらい多くありました。臨床とは異なった種類のストレスを感じ、精神的に安楽な日はあまりありませんでしたが、病院長にならなければ出会うはずの無かった人達と出会うことができましたし、病院長にならなければ経験するはずの無かったことも経験できました。総じていえば、とても楽しい病院長生活を送ることができて幸せでした。

さて、これからの紀南病院のお話です。皆さんの努力によって昨年度までは黒字経営が続いてきましたが、今年度の経常収支はついに赤字となりそうです。人口減少・入院患者減少・物価上昇などが主な原因で、来年度以降も病院の収支はかなり厳しいと言わざるを得ません。そのような問題を残したままで病院長を辞すこと、忸怩たる思いがあるというのが正直なところですが、しかしながら、幸い紀南病院では多くの優れた人材が着々と育っています。職員の皆さんには、新病院長となる榊先生を支え、新しい紀南病院の歴史を作っていただきたいと期待しています。

23年間という長い時間をこの田辺の地で過ごしてきました。その間の全ての出来事、私の素晴らしい宝物になりました。大好きな紀南病院を私は3月31日をもって退職しますが、紀南病院の、そして皆様方の、ますますの発展とご多幸を心から祈念しています。

長い間お世話になり、本当にありがとうございました。

研修医日記

resident

はじめまして。歯科口腔外科1年目の倉優斗と申します。今回サザンクロスでの研修医日記を担当させていただくこととなりましたので、この場を借りて自己紹介をさせていただきます。

私は和歌山県御坊市生まれ、日高高等学校附属中学校、日高高校に進学し、大学は九州歯科大学に進学しました。大学ではバドミントン部に所属しており、大学4年生のときにはキャプテンを務めておりました。大学時代から始めたバドミントンですので実力というよりは先輩後輩からの話やすさから選ばれたキャプテンだったのではないかと今でも思っております。コロナ禍もあり、キャプテンとしては大会に出場する機会はありませんでしたが、引退後も大会には出ずとも週に1回は練習に顔を出す程度にはバドミントンをしておりました。しかし、研修医生活が始まってからは機会もないためバドミントンをしている方々いらっしやいましたらこれを機に誘っていただけると嬉しいです。



研修医 倉 優斗

研修医生活もうすぐ1年が過ぎようとしております。口腔外科で1年近く研修しておりますと、できることも少しずつではありますが増えてきており、それにより新たな疑問も増え、毎日新たな学びを得ることができております。来年度には2年目となり後輩が入ってきます。自分が入ってきたときに先輩方の後ろ姿を見て自分も2年目3年目にはこんなにもできるようになるのかと紀南病院での研修に心躍らせたものです。大学の口腔外科で見ていた2年目3年目の先生よりもはるかにできることが多く、感動したこともまだ記憶に新しいです。来年からは自分がその立場になっていくため、後輩からも同じように思ってもらえるように、後輩が入ってくるまで残り数か月ですが今まで以上に頑張っていきたいと思っております。

診療科の先生方のみならず、その他の職員の皆様にも大変お世話になり、ご迷惑をおかけしてしまうことも多々あるかとは思いますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

阪越病院長が、医療功労賞を受賞!!

近畿地方医療功労賞 表彰式

主催：読売新聞社 後援：厚生労働本省 近畿厚生局 日本テレビ放送網
協賛：JCRファーマ

医療功労賞は、読売新聞社が中心となり、長年にわたり地域の医療に貢献してきた人を顕彰する目的で設立された賞です。今年で53回目となる伝統のある賞ですが、毎年各地方で地域医療の発展に尽力された方が表彰されます。

今回、阪越病院長が、近畿地方医療功労賞を受賞しました。長年、紀南地域の心臓血管外科治療の発展のために様々な取り組みをしてきたことが高く評価され、今回の受賞につながりました。おめでとうございます。



退任にあたってのあいさつ



事務局長 仲 晃司

貴重な紙面をお借りして一言お礼申し上げます。
令和4年4月から3年間、大変お世話になりました。
私が就任した時は、新型コロナウイルス感染症の真っ只中でありましたが、職員の皆様の協力によって、なんとか経営も維持したままで切り抜けることができました。
また、医師の働き方改革への対応やコロナ対応による職員の処遇改善などにも取り組んでくれたのも、ひとえに、職員の皆様の、ご協力のおかげと感謝しております。
お陰様で、本日まで大過なく勤めることが出来、無事退任する事が出来ますこと、大変感謝しております。
役職は退きますが、退職までは今しばらく期間がありますので、今後ともよろしくお願いいたします。
ありがとうございました。

かつては“新人類”と言われた世代の私も大台を迎えることとなりました。これまでお世話になった皆様にこの場をお借りまして挨拶申し上げます。

薬剤師として振り返りますと、自分として2つの思い出があります。抗がん剤業務と職業曝露対策の取り組みに挑みました。数多の苦難を伴いましたが、多くのがん薬物療法認定薬剤師・がん専門薬剤師と交流が出来ました。ある時はリツキシマブの過敏反応を身震いしながら制御を試みた経験は、今日の蛋白製剤の支持療法を構築する礎となりました。こうした支持療法への取り組みは我々の業務が「モノから人へ」移ろう中で根幹をなすものに成長してきたと思っています。

具体的な事例を挙げますと、アレルギー対策が功を奏して患者様に標準治療を継続して提供できたこと、副作用で発生した皮膚炎を化学療法室の看護師さんと共に解できたこととなりますが、大きな喜びと共にとても大きなプレッシャーでもありました。

免疫チェックポイント阻害剤の登場は大きな期待となりましたが科学の進歩は歩みを止めず、ウイルスを遺伝子修飾した治療薬も登場してきており、今まで以上に薬への好奇心を持ち続けることが後輩諸氏に求められるでしょう。「エビデンスに基づく研鑽」を積んでプレッシャーに負けないでください。

今後は当院も和歌山県立医科大学と連携してゲノム医療の恩恵を紀南地域にお届けする形になっていくのではと想像しております。私自身未だがんの制御への興味は尽きず、これまで築き上げた人脈を生かして最先端のがん薬物療法の情報を提供できればと思います。

皆様のご活躍をお祈り申し上げるとともに、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



薬剤部長 栗原 稔男

看護部長 岡地 美代



この度役職定年いたします。お世話になりました皆様にご挨拶と感謝を述べさせていただきます。

専任教員、がん化学療法看護認定看護師養成のための長期研修や、それ以外の様々な研修へ送り出していただき、今日に至るまで紀南病院、諸先輩方、同僚の皆さまの多大なご支援を賜りましたことに、深く感謝いたします。また、私が病棟、外来でお会いした多くの患者様やそのご家族にも教えられ、励まされてまいりましたことも忘れてはなりません。厳しく困難な状況に遭遇した時もそれを乗り越え、この日を迎えられるのは、私に関わっていただきました全ての皆さまのお陰にほかなりません。

デジタル技術の急速な発達、自然災害や新興感染症への脅威等、これまでに経験したことのないことが次々と起きています。今後も複雑で不確実な、判断が難しい局面が多くあろうかと思えます。この先もチーム紀南病院として職員一丸となって、良質な医療提供に取り組まれることを、地域住民の一人としても切にお願い申し上げます。

今しばらく微力ながら紀南病院に貢献する所存でございます。今後ともよろしくお願いいたします。

病院のまど

New Face さ〜ん 【医師】

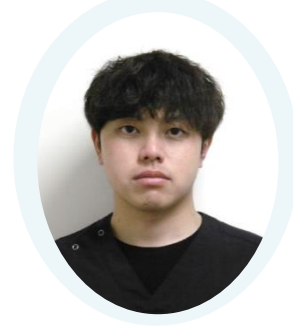
①出身地②趣味・特技③一言アピール(敬称略)



しらかわ ゆきとし
《心臓血管外科》白川 幸俊
①長崎県 ②サッカー・読書
③25年振りに戻ってきました。病院も私も様変わりしていますがよろしくお願ひします。



こもだ ゆうへい
《心臓血管外科》薦田 悠平
①愛媛県 ②動画鑑賞
③地域の皆様が安心して心臓血管治療を受けれるよう精進します。



なかむら ゆういち
《整形外科》中村 裕一
①御坊市 ②ゴルフ
③至らない点もあるかと思いますが、よろしくお願ひいたします。

第146回がんサロン「ふれあい」開催のお知らせ

日時:2025年3月7日(金)14時~16時

場所:2階第5会議室

「身体動かそう会！」

y4c(がん患者のためのヨガ)認定講師 日尾一代先生

*持ち物:ヨガマットもしくは大きめのバスタオル(持っている方)、

水分補給の飲み物、動きやすい服装でお越しください

編集後記

春のおとずれを感じ始める時期となりました。この時期は人との別れの季節でもありますが、新しい出会いも期待できるので楽しみにしたいと思います。

| 記

大黒は、医療の未来を考える。
大黒は、安心と安全を考える。
大黒は、医療と物流をつなぐ。
大黒は、地域に笑顔を届ける。

株式会社大黒は
医療機器・医療材料の総合商社です
販売部/総務部/営業部
医療機器部/システム部/部品部/部品部

株式会社 大黒
【本社】〒640-8525
和歌山県和歌山市手平3-8-43
Tel: 073-431-0316
Fax: 073-423-1778
<https://daikoku-medical.co.jp/>

SEIKO MEDICAL
医療の先へ。セイコーメディカル株式会社

医療・保健・福祉・介護の分野で、
「生命を守る人の環境づくり」を通じて
地域の発展に貢献することが
私達の使命です。

■本社
〒640-8287 和歌山県和歌山市美海6丁目9番地の10
TEL. 073-435-2333 FAX. 073-435-2223

■大阪支店
〒595-0012 泉大津市北堂中町2丁目5番28号
TEL. 0725-31-3610 FAX. 0725-31-3619

■新大阪営業分室
〒641-0012 和歌山県和歌山市紀三井寺768番地の13
TEL. 073-448-3787 FAX. 073-448-3781

■田辺営業所
〒646-0011 田辺市新庄町2744番地
TEL. 0739-25-4535 FAX. 0739-25-4578

■新宮営業所
〒647-0072 新宮市藤伏20番22号
TEL. 0735-31-9130 FAX. 0735-31-8133

■奈良営業所
〒632-0082 天理市常楽町5番地の4
TEL. 0743-64-3607 FAX. 0743-64-4810

SHIP HEALTHCARE GROUP
セイコーメディカル株式会社